

大東市人権教育拡充事業

氷野小学校
の取り組み



大東市では、令和6年度より大東市人権教育拡充事業として、市内全小中学校において個別のテーマを設定し、人権教育を推進しています。

大東市立氷野小学校では、「子どもの権利条約」でも定められている「子どもが意見を表明する権利」をテーマとして設定し、平和教育の取り組みを行っています。その中でも6年生は『キッズ ゲルニカ プロジェクト』に取り組みました。

キッズ ゲルニカ プロジェクトとは

キッズ ゲルニカ プロジェクトは、子どもたちが平和への願いを込めて巨大な絵を描く国際的なアート活動です。ピカソの「ゲルニカ」と同じ大きさのキャンバス（3.5m×7.8m）を使い、対話しアイデアを出し合いながら協同制作することで、平和の大切さを実感し、学ぶ機会となる取り組みです。



子どもたちの取り組み

これまでの平和教育を振り返りながら、絵にどのような願いや思いを込めるのかを考え、下絵の作成に取りかかりました。それぞれが考えた下絵を、一つの大きな絵にどのように表現できるかを教員も交えながら議論を重ねました。個人の思いだけで絵を描くのではなく、こうした対話を続けることで、子どもたちの思いや考えも深まることにつながりました。

平和への願い

実際のゲルニカより大きくなってしまいましたが、子どもたちは4m×8mのキャンバスに平和への願いを込めて、全員で一つの絵を制作することができました。また、平和学習を通して学んだこと、広島への修学旅行で感じたことなどをまとめ、全校児童へ発表も行いました。6年間の学びを振り返りながら、平和への願いを忘れず成長して行ってほしいです。

